

# 社会科学学習指導案

平成29年5月25日(木)

場所：学校敷地内

授業者：担任

G・T もりの案内人

- 1 単元名 校舎敷地内の樹木と草花の調査観察
- 2 本時のねらい  
○校舎施設と周辺環境を配慮して建設された庭園のすばらしさを、樹木の観察を通して発見し、身近な樹木についての知識や理解を高め、体験活動を通して、環境問題に関心を持たせる。
- 3 活動の流れ

学 習 内 容	単 元	分 担	○指導・支援の留意点 ※評価
1 開会行事 ・敷地内の樹木観察会の目的 ・森の案内人の紹介(2名)とあいさつ ・観察ボードとワークシート配付、使用方法についての説明  2 校舎敷地内に何種類くらいの樹木が植えられているか、また知っている樹木はあるか確認する。	10	学年主任、担任   もりの案内人	○本校敷地内に見られる数多くの樹木について、その名前や由来、特徴、使用目的など注意深く聞き取り、ワークシートにまとめるよう指示する。  ○学校新設の際、計画的に約30種類の樹木が植えられたこと、その種類が県内の中学校では最大規模であることを説明する。
3 樹木を観察する(学級ごとにフィールドワーク)。 ・もりの案内人の説明をもとに樹木の名前を予想し、ワークシートに記入する。  ケヤキ、エゴノキ、ナナカマド、ヤマボウシ、ツゲ、シラカバ、イロハモミジ、ナツツバキ、コウヤマキ、イチヨウ、サルスベリ、ウメドモキ、アカマツ、モミ、サラサドウダン、アオダモ、タニウツギ、スズカケ、ネズミモチ、ニシキギ、アジサイ、メタセコイア、ヤブツバキ、ニレ、クリ、テマリカンボク	60	担任   もりの案内人	○もりの案内人の説明をしっかりと聞き、注意深く樹木を観察するよう声かけを行う。また、安全面配慮させる。  ○樹木番号順に木々の紹介をし、答えのヒントを提示する。 ※ヒントをもとに、木々の名前を予想することができたか。(観察、ワークシート) ~ヒント(例)~ ・福島県、村の木 ・中学校のシンボルツリー ・野球のバットの用材として使用される ・絶滅したと考えられていたが、1945年に中国で発見され、各地に広がった
4 樹木観察のまとめ ・学習の振り返り、正解の発表  5 閉会行事	30	もりの案内人	○もりの案内人から樹種の確認を行い、泉崎中学校敷地内の樹種の多さを再確認させる。
事後指導 植物観察のまとめを行う。 ・学習した樹木の配置をそれぞれ特徴と合わせイラストマップにまとめる。	2時間	担任	○観察会時に撮影した写真や植物図鑑、校舎の配置図を提示し、イラストマップにまとめさせる。 ※意欲的に活動することができたか (イラストマップ)

